

調査速報

外食需要動向(2023年4月)

行動制約の解消もあって、外食の値上げが相次ぐ中でも客離れは顕在化していない

主任研究員
佐橋 官
045-225-2375
sahashi@yokohama-ri.co.jp

要約

- 外出機会の増加により、家計の実質外食支出金額は全国、関東地方とも、高い水準を維持している。
- 外食産業では値上げの動きが続いているものの、客離れは顕在化していない。
- 行動制約の解消に伴う客数の戻りが一巡した後は、値上げによる客離れのリスクが高まる。

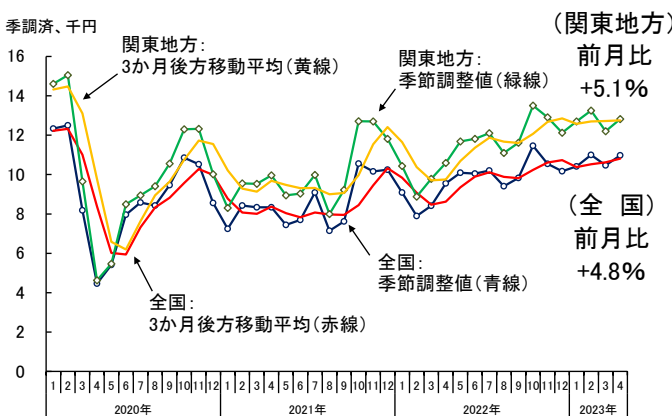
1. 外出機会の増加により、家計の実質外食支出金額は堅調に推移

総務省「家計調査」に基づく2023年4月の1世帯あたり実質外食支出金額(季節調整済)は、全国が前月比4.8%増(前年同月比13.5%増)、関東地方が前月比5.1%増(前年同月比21.0%増)となった。全国、関東地方ともに、総じてみれば、外食産業による値上げが続く中でも家計は外食を手控える行動をとっておらず、家計の実質外食支出(注:値上げによる支出金額の膨張を統計的に排除している)はコロナ禍後では最も高い水準で推移している(図表1)。4月は「全国旅行支援」が延長され、また、対面でのイベントや式典等も増加したことなどから、外出機会が増加し、外食支出も堅調に推移したとみられる。

2. 外食産業売上高も増加基調にある

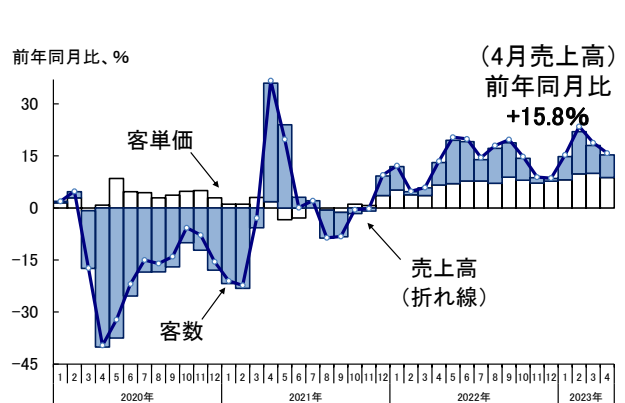
また、(一社)日本フードサービス協会が集計している2023年4月の外食産業売上高は前年同月比15.8%増となった(図表2)。2023年4月も客単価(同8.8%増)と客数(同6.5%増)の両方が売上高を押し上げた。このうち、客単価の上昇は外食産業による値上げ(メニュー価格の引き上げ)が進んでいることを反映したものと考えられるが、それにもかかわらず、客数は全ての業態で前年同月の水準を上回った(次頁、図表3)。外食産業全体でみると、値上げによる客離れは顕在化しておらず、行動制約が緩和されたことによる客数の回復が進んでいる。

図表1 実質外食支出金額は高い水準を維持
(全国、2人以上の世帯、季調済)



注1:総務省「家計調査」の用途分類「一般外食」。
注2:実質化と季節調整は浜銀総合研究所が実施。
出所:総務省「家計調査」より浜銀総研作成

図表2 外食産業は増収傾向が続く
(全国、全店、前年同月比)



注1:全店とは、既存店と新規店の合計。
注2:売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。
注3:売上高、客数、客単価は店内飲食だけでなく店外飲食も含む値。
出所:一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」より浜銀総研作成

3. 行動制約がなくなることによる客数増が一巡した後は、値上げによる客離れのリスクが高まる

2023年5月に新型コロナが「5類」に移行したことで、企業が職員等に課していた行動制約（自主規制）の縮小・撤廃が進んでいる。加えて、入国時の水際対策の緩和後、訪日外国人も増加傾向にあることから、外食産業では客数の回復が続いている。2023年4月も、3年ぶりの歓送迎会や行楽（お花見）が話題になるなど、飲食需要は好調であり、相対的に回復が遅れていたパブ・居酒屋業態（売上高は前年同月比31.9%増）やディナーレストラン業態（同22.4%増）の売上高も高い伸びとなった（図表3）。

ただし、企業が主催する大規模な宴会や、個人による二次会、三次会といった深夜の飲酒需要の戻りは依然として鈍いとみられる。コロナ禍で途絶えた「職場の宴会」が3年を経て復活する動きは鈍く、消費者の行動の変化が定着しつつあるとみる。

また、依然として物価の上昇が賃上げ幅を上回る状況が続いており、家計の実質所得は前年を割り込む展開が続いている。現状では、前述のような行動制約の解消に伴う外食需要の「戻り」が外食産業の回復を支えているが、その動きが一巡した後は、低価格業態への顧客のシフトや来店回数の減少、あるいはスーパーやコンビニエンスストアの弁当・総菜の利用などといった、値上げによる外食の客離れのリスクが高まることになろう。

図表3 外食産業売上高(2023年4月、全国、全店)

(前年同月比増減率)

業 態	店舗数	売上高	客数	客単価
全 体	36,651	15.8%	6.5%	8.8%
ファストフード	21,194	12.9%	4.5%	8.0%
洋 風	6,275	11.2%	1.3%	9.9%
和 風	5,065	17.0%	9.1%	7.2%
麵 類	3,167	18.0%	6.9%	10.4%
持ち帰り米飯/回転寿司	4,333	9.2%	3.1%	6.0%
その他	2,354	12.8%	4.5%	7.9%
ファミリーレストラン	10,478	18.0%	9.9%	7.3%
洋 風	5,172	17.1%	10.3%	6.1%
和 風	2,566	18.9%	7.0%	11.1%
中 華	1,371	16.6%	11.2%	4.9%
焼き肉	1,369	21.0%	13.1%	6.9%
パブ・居酒屋	1,852	31.9%	19.5%	10.3%
パブ・ビアホール	390	40.7%	22.6%	14.7%
居酒屋	1,462	27.8%	17.8%	8.4%
ディナーレストラン	975	22.4%	15.0%	6.4%
喫茶	1,897	24.3%	9.9%	13.1%
その他	255	21.3%	12.7%	7.6%

注1:全店とは、既存店と新規店の合計。

注2:売上高と客単価は名目ベースの税抜き価格による比較。

注3:売上高、客数、客単価は店内飲食だけでなく店外飲食も含む値。

出所:一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」より浜銀総研作成

本レポートは、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると判断した情報に基づいて作成したものです。その正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づくものであり、レポート発行後に予告なく変更されることがあります。ご利用の際は、最新の情報をご確認くださいませますようお願いいたします。